

「ニッセイ名作シリーズ 2023」公演開始

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、今年度も公益財団法人ニッセイ文化振興財団（以下「ニッセイ文化振興財団」）主催の「ニッセイ名作シリーズ」に協賛します。

当社は、1964年に全国の小学校6年生をミュージカルへ無料招待する「ニッセイ名作劇場」への協賛を開始しました。「ニッセイ名作シリーズ」は、「ニッセイ名作劇場」と、中高生にオペラを低廉な料金で提供してきた『青少年のための「日生劇場オペラ教室」』を前身とするもので、演目や対象層を拡大し、日生劇場をはじめとした全国の劇場に、これまで累計約800万人の子どもたちを招待しています。

今年度から四季株式会社（以下「劇団四季」）を迎え、新たな演目に取り組むこととなります。日生劇場では劇団四季が制作・出演する新作ミュージカルを全37公演、その他の劇場ではニッセイ文化振興財団が企画・制作する音楽劇等を全国8都市・全22回上演し、約6万名の小中学生（3・4年生中心）を招待します。

当社は、企業メッセージ「今日と未来を、つなぐ」のもと、未来を創る子どもたちのための活動に取り組んでおり、「ニッセイ名作シリーズ」への協賛を通じ、子どもたちの「豊かな情操」や「多様な価値観」を育んでまいります。

（過去の公演より）



以上

○「ニッセイ名作シリーズ 2023」 概要

【日生劇場公演】

主催・企画：公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

制作・上演：劇団四季

協賛：日本生命保険相互会社

演目：新作ミュージカル「ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～」

2023年6月6日(火)～7月19日(水) 日生劇場(東京都)

【全国公演】

主催・企画・制作：公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

協賛：日本生命保険相互会社

演目①：音楽劇「精霊の守り人」

2023年8月31日(木) サントミュージゼ(上田市交流文化芸術センター)(長野県)

9月6日(水) 柏崎市文化会館アルフォーレ(新潟県)

9月13日(水)～15日(金) 札幌文化芸術劇場 hitaru(北海道)

9月20日(水)～21日(木) NHK大阪ホール(大阪府)

9月28日(木) 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本県)

演目②：舞台版「せかいいちのねこ」

2024年2月9日(金) 太田市民会館(群馬県)

2月15日(木) 愛媛県民文化会館(愛媛県)

2月19日(月) 北九州ソレイユホール(福岡県)

※2023年度公演への招待校の募集は終了しています。

2024年度以降の公演に関するお問い合わせは、公益財団法人ニッセイ文化振興財団 全国公演部までご連絡ください。(公益財団法人ニッセイ文化振興財団 電話：03-3503-3122)

○「ニッセイ名作シリーズ 2023」 上演作品

新作ミュージカル「ジャック・オー・ランド ～ユーリと魔物の笛～」

劇団四季制作による新作ミュージカル。全く違う世界で生きてきた人間の男の子と魔物の子どもの友情を通じ、「種族を超えた友情」や「信じる心を持つことの大切さ」を伝えます。

主なキャスト・スタッフ (ニッセイ名作シリーズ)

原作：「ジャック・オー・ランド ユーリと魔物の笛」(作・山崎貴、絵・郷津春奈、企画監修・千葉伸大、2017年ポプラ社刊)、脚本：南圭一朗、演出：山下純輝、出演：劇団四季
--

音楽劇「精霊の守り人」

大人気ファンタジー小説「精霊の守り人」初の舞台化。生演奏の音楽、歌やアクションシーンを盛り込んだ、スペクタクルあふれる音楽劇。理不尽な運命に巻き込まれた男の子が自らの未来を切り開く冒険譚を通じ、「諦めずに立ち向かうことの大切さ」を伝えます。NHKエンタープライズとの共同企画・制作。

主なキャスト・スタッフ (ニッセイ名作シリーズ)

原作：「精霊の守り人」上橋菜穂子作、偕成社刊、脚本：井上テテ、演出：一色隆司、音楽：かみむら周平、出演：梅田彩佳、黒川想矢・込江大牙 (Wキャスト)、唐橋充、雛形あきこ、今井翼・山崎樹範 (Wキャスト) 他

舞台版「せかいいちのねこ」

原作は画家ヒグチユウコ氏の代表作の絵本。幻想的な世界観から生み出される、繊細で緻密なキャラクター達は子どもから大人まで幅広い層の支持を集めます。同氏の作品では世界初の舞台化で、静と動の絶妙な速度感で物語る舞台を通じ、「自分らしく生きることの大切さ」を伝えます。

主なキャスト・スタッフ (ニッセイ名作シリーズ)

原作：「せかいいちのねこ」ヒグチユウコ (白泉社)、脚本・演出・振付：山田うん、音楽監督：ヲノサトル、人形美術：小川ちひろ、かぶりもの製作：大石麻央、出演：Co. 山田うん、人形劇団ひとみ座
